

特集

広島メディア芸術振興プロジェクト
〜広島ゆかりの作家、作品展〜
日本マンガ学会第15回大会に合わせて開催



文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞者記念対談 マンガ家：近藤ようこ（『五色の舟』）・こうの史代（『夕風の街 桜の国』）

対談：近藤ようこ（マンガ家）× こうの史代（マンガ家、比治山大学短期大学部客員教授）

聞き手：久保直子（比治山大学短期大学部講師）

関連イベントとして行われた近藤先生とこうの先生による対談（いずれも文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞）では、マンガ家を志した経緯やマンガ表現の奥深さについて語られました。近藤先生が高校時代に高橋留美子先生と一緒に漫画研究会を設立した思い出やアシスタント時代のエピソードなども紹介され、会場を埋め尽くした人々から笑いや驚きの声があがりました。



6月27日、28日、日本マンガ学会第15回大会の開催に合わせて、「広島メディア芸術振興プロジェクト〜広島ゆかりの作家、作品展」が開催されました。日本マンガ学会は、マンガ表現やマンガ文化、マンガと社会との関わり等について学問的に研究する全国規模の学会です。初の広島での開催となったこの15回大会。全国からマンガ研究者やマンガ家、編集者等の学会関係者が集まるこの機会に、広島ゆかりのマンガ家や作品に焦点をあてた展覧会が広島市等の主催で開催され、会場のJMS アステールプラザ（中区加古町）には、全国から集まった学会関係者に加え、2

日間で2千人近くの市民やファンが詰めかけました。

中沢啓治『はだしのゲン』や近藤ようこ『五色の舟』の複製原画展や新久千映『ワカコ酒』のアニメ化記念展示、あすなひろし、石田敦



子、宇河弘樹、かわぐちかいじ、こうの史代、西島大介、村上たかし、望月菓子+方條ゆとりなどの作品の複製原画やゆかりの品などが展示されました。また、広島市まんが図書館による企画展示のほか、広島メディア芸術振興プロジェクト



に参加する大学や短大、専門学校、協力団体による関連展示、尾道マンガ大賞展なども行われ、広島のメディア芸術の多彩な活動が紹介されました。（敬称略）（次頁にもレポート続きます。）

多彩なゲストによるトークやライブドローイング

期間中、同会場では関連イベントとして新久千映氏のライブドローイングや、現在製作中の戦時下の呉・広島を舞台にしたアニメーション映画『この世界の片隅に』の監督である片瀝須直氏のトークショーも開催され、いずれも多く参加者が熱心に聴き入っていました。

会場内で実施したアンケートには、「広島ゆかりの作家がこんなに多いことを知らなかった」、「作家さんのトークショーをまた開催してほしい」といった声が多く寄せられ、9割以上の方が楽しかったと回答しています。来場者の年齢は10代から70代までと幅広く、マンガというメディア芸術への市民の関心の高さが伺えました。



『ワカコ酒』アニメ化記念ライブドローイング 新久千映（マンガ家：新久千映）



『ワカコ酒』の作品が今年7月からTVアニメ化されるのを記念しての、新久千映先生のトークとライブドローイング。広島市在住の新久先生は、もちろん広島市内の美味しいお酒のお店にも詳しく、マンガのお話だけでなくお酒の話題でもたくさんの参加者を魅了しました。差し入れのビールを「ぶしゅー」と飲まれながら、新久先生の大ファンでもある司会者田辺祐三子氏との酒トークもはずみ、来場者の方々と和やかに交流されました。

『この世界の片隅に』アニメーション映画化記念トークショー（監督：片瀝須直）



戦時下の呉・広島を舞台にした、こうの史代先生原作のマンガ『この世界の片隅に』のアニメーション映画化に精力的に取り組まれる片瀝須直監督。今春は同作品のクラウドファンディングの成功でも多くの方から支援を集め注目されています。これまで積み重ねられた丹念な取材に基づく映像製作の様子や映画の進み具合などについて片瀝監督が語られると、映画の完成を楽しみにしている参加者の熱気がいっそう高まりました。



レポート！ 日本マンガ学会 第15回大会

日本マンガ学会は、マンガの表現や文化、歴史、社会との関わり等について学術的に研究する全国規模の学会です。記念すべき第15回大会は初めての広島開催となり、全国からマンガ研究者やマンガ家等の関係者が集まりました。1日目の研究発表では、口頭発表やポスター発表、ラウンドテーブルと、マンガに関わるここ1年間の調査・研究の結果が発表されました。夜には合宿座談会も開催され、少女マンガ誌部会や資料収集保存部会など各部会に分かれ、研究内容や今後の活動について議論されました。今回は片瀝須直監督（上記事参照）も飛び入り参加され、どの部会も大いに盛り上がり、合宿座

談会は深夜まで行われました。

そして2日目は、戦争をマンガで描くことの意義や困難、そしてマンガとしての「ゲン」を多面的に評価しようと、戦争に関する作品を手がけてきた4名のマンガ家をゲストに迎え、シンポジウム『「はだしのゲン」の多面性』が、午前・午後の2部制で開催されました。立ち見も出るなど200名を超える来場者数で、「ゲン」そしてマンガへの関心の高さが示されました。シンポジウムも終了時間を大幅にオーバーするなど、熱気冷めやらぬまま大会は盛況に幕を閉じました。（久保直子 比治山大学短期大学部美術科講師）

『この世界の片隅に』情報！

アニメーション映画製作中の本作品に関連する広島での最新の動向をまとめました。

Pick up

- 制作支援クラウドファンディング大成功のうちに終了！
2015年3月9日（月）～5月29日（金）達成率181%
支援人数3,374人 支援総額36,224,000円
（国内映画クラウドファンディング史上最高額です）

- 『この世界の片隅に』を支援する呉・広島の会発会式 記者発表
【日時】2015年6月3日（水）10:00～
【会場】平和記念公園レストハウス（作品中の大正屋呉服店）3F
その場で、製作正式決定と2016年秋公開が真本プロデューサーから発表されました。

- 日本マンガ学会関連事業 広島メディア芸術振興プロジェクト
～広島ゆかりの作家、作品展～
「この世界の片隅に」（原作：こうの史代）アニメーション映画化記念片瀝須直監督トークショー
【日時】2015年6月28日（日）13:00～13:50
【会場】JMS アステールプラザ 1階市民ギャラリー内特設ステージ

- 広島経済同友会呉支部「呉の歴史再発見委員会」第1回例会 片瀝須直監督講演会（一般公開）
【日時】2015年7月17日（金）18:00～19:30
【会場】呉阪急ホテル4階（広島県呉市中央1-1-1）
【演題】呉と広島を舞台にしたアニメーション映画「この世界の片隅に」の片瀝監督に語っていただく戦中戦後の呉の様子と市民の日常生活

- クラウドファンディング制作支援メンバーズミーティング
【日時】2015年7月18日（土）18:30～20:00
【会場】広島市青少年センターホール（広島市中区基町5-61）
メンバーズミーティングは、この他、7月4日 東京（2回）、7月11日 東京（2回）、7月19日 大阪、広島と併せて合計6回開催されました。広島会場では、クラウドファンディング支援者の他、片瀝監督の調査に協力された旧中島本町等にお住まいだった方々も招待しての報告会としても行われました。

- ポップラ劇場 2015「夕風の街 桜の国」野外上映会
（アニメーション映画「この世界の片隅に」パネル展示）
【日時】2015年8月1日（土）17:30～21:40
【会場】基町POP La 通り（広島市中区基町 中央公園西側河岸緑地）

Topics
1

広島メディア芸術振興プロジェクトの活動報告 ★ ☆ 「横川ゾンビナイト」開催委員会へ参加！！



前号の『広島アニメーションだより』（第6号）でもご紹介した「広島メディア芸術振興プロジェクト会議」が活発な活動を展開しています。このプロジェクト会議は広島のメディア芸術（アニメーションやマンガ、映画、コンピュータを利用した芸術）を盛り上げるために、教育機関や行政、企業、市民団体などが幅広く参加しています。

その一環として、レトロバスなどで有名な横川商店街とコラボして、新たな賑わい創出や魅力発信などを目的とした商店街メディア・アート連携事業に取り組んでいます。



テーマは必ず「ゾンビ」。今秋のハロウィンに合わせて、横川シネマを拠点に商店街一帯で映像関連プログラムなど様々な催しが開催される予定です。詳しくは次号で。

横川シネマ劇場・商店街メディア・アート連携事業「横川ゾンビナイト」

日程：平成27年10月30日（金）、31日（土）（関連イベントを一週間前から実施予定）

場所：横川商店街（横川シネマ、横川創苑ほか）一帯

主催：横川ゾンビナイト開催委員会

（横川商店街連合会、横川商店街振興組合、広島フェイスペイント組合、

NPO法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ

NPO法人広島ジャンボリー・プロジェクト、広島メディア芸術振興プロジェクト会議ほか多数の参加団体、企業等で構成）

事務局：横川商店街振興組合



Topics
2

近隣市町の取り組み紹介『朝霧の巫女』の聖地 三次 旧酒蔵跡の蔵カフェを拠点に活発に活動中

～10月17日（土）・18日（日）にイベント「第9回 北の蔵プロジェクト」を開催！～

新しい地域文化の一つとしてメディア芸術文化に取り組む地域は近年全国各地で増えています。今回は、マンガ『朝霧の巫女』（2002年TVアニメ化）の舞台でも知られる広島県三次市の取り組みをご紹介します。三次市では江戸時代から当地に伝わる妖怪物語『稲生物怪録』（いのもののけろく）を題材に「物怪プロジェクト三次」が地域おこしの活動を行ってきました。また2007年以降、旧酒蔵跡を改造した蔵カフェ・「卑弥呼蔵」を拠点に地域内外の有志らが「三次町北の蔵プロジェクト」を立ち上げ、様々なイベントを開催しています。

蔵プロジェクトには『朝霧の巫女』の原作者・宇河弘樹先生も協力されています。宇河先生は三次の美しい四季折々の情景を描いた三次市観光ポスターなども手がけられました。『朝霧の巫女』をきっかけに県内外からたくさんのマンガやアニメなどのファンが蔵プロジェクトに参加しています。近年ではコスプレを楽しむ人も撮影や交流の拠点として卑弥呼蔵を訪れています。2015年10月17日・18日に「第9回 三次町北の蔵プロジェクトイベント」が開催予定です。

「中学校でのアニメーション・マンガの出張指導について」

Pick up



アニメーションの動きのつけ方を指導する
比治山大学短期大学部美術科 宮崎講師

広島市では、今年3月に発行した美術教員向け教本「アニメーション、マンガの教え方」を学校現場で活用していただくため、比治山大学・比治山大学短期大学部と連携して中学校の美術部等に講師を派遣しています。

7月～8月に、アニメーション制作とマンガ制作について出張授業を行いました。アニメーション制作に取り組んだ学校の中には、8月6日に国際会議場で開催された「平和・広島をテ

マに制作したアニメーション作品の上映会」（次ページ参照）に向けて、初めて作品制作に取り組んだ学校もあります。

今後も希望する学校に講師を派遣する予定です。教本についてのお問い合わせや講師の派遣を希望する場合は、下記にご連絡ください。



キャラクターデザインを指導する
比治山大学短期大学部 美術科久保講師

広島市市民局文化スポーツ部文化振興課分室
（JMS アステールプラザ内）

電話番号：082-245-0245 FAX：082-504-5658

E-mail：hiroanim@hiroanim.org

8月6日に、平和のためのアニメーション野外上映会&平和・広島をテーマに制作したアニメーション作品の上映会が開催されました！



「愛と平和」をメインテーマに掲げる広島国際アニメーションフェスティバル関連イベントが被爆70年にあたる2015年8月6日に開催されました。

20時15分から広島平和記念資料館東館北側で「愛と平和」をテーマに短編アニメーションの野外上映会が開催され、350名以上の観客が参加。木下小夜子広島国際アニメーションフェスティバルディレクターの挨拶と作品紹介の後、『ウィメンズ レターズ』（2013/フランス/アウグスト ザノヴェロ監督）と『ピカドン』（1978/日本/木下蓮三・木下小夜子作品）が上映されました。上

映前にモントリオール市での被爆70周年記念コンサート映像と同市市長のメッセージも上映されました。

また、野外上映会に先立ち15時30分から広島国際会議場で開催された「青少年平和・文化イベント ヒロシマの心を世界に2015」で、広島市内の中学生・高校生等が平和や広島をテーマに制作したアニメーション上映会が開催されました。大州中学校、二葉中学校、庚午中学校、古田中学校、大塚中学校、基町高等学校が作品を発表し、約170名が鑑賞しました。



EVENTS

第16回広島国際アニメーションフェスティバル1年前イベント「シャレオ☆アニメーションアートBOX」

来年8月に開催される第16回広島国際アニメーションフェスティバルの1年前を記念して、「シャレオ☆アニメーションアートBOX」がシャレオ地下中央広場で開催されます。どなたでもご自由に参加、鑑賞できますのでぜひご来場ください。

日時：8月23日（日） 11:00～18:00

場所：紙屋町地下街シャレオ地下中央広場（広島市中区基町地下街100）

内容：・アニメーション×アート×ステージ

・アニメーションや映像の楽しい体験ワークショップ、フェイスペイント

・広島国際アニメーションフェスティバル関連映像の上映や紹介パネル展示など

主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局 TEL 082-245-0245（問い合わせ先）

広島県立美術館「特別展 生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」

ドラえもん、パーマン、エスパー魔美、オバケのQ太郎など数々の人気キャラクターを生み出し、子どもたちのためにSF（すこしふしぎ）な物語を描き続けた藤子・F・不二雄氏の生誕80周年を記念する特別展が広島県立美術館で開催中です。

日時：2015年7月18日（土）～2015年9月6日（日）

場所：広島県立美術館（広島市中区上幟町2-22）

筆の里工房「戦後70 特別企画 第二楽章 男鹿和雄展～吉永小百合と語り継ぐ～」

ライフワークとして原爆詩の朗読を続ける女優・吉永小百合氏とアニメーション背景画家・男鹿和雄氏（スタジオジブリ『となりのトトロ』の美術監督も担当）の絵筆によって生まれた『第二楽章』の挿絵原画や、男鹿氏が広島・長崎・沖縄・福島など、現地を取材したスケッチ資料約120点を通じて、平和へのメッセージとして紹介します。

日時：2015年7月4日（土）～8月30日（日）

場所：筆の里工房（広島県安芸郡熊野町中溝5-17-1）

比治山大学短期大学部 美術科

映像・アニメーションコース

山村浩二 客員教授

授業進行中！

マンガ・キャラクターコース

客員教授 こうの史代原作
「この世界の片隅に」
アニメーション映画製作中！

●私たちは広島市と連携して若い才能を発掘育成します●

発行日：2015年8月20日 発行部数：4000部 発行：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課

編集：NPO法人広島アニメーションシティ（HAC） デザイン：広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室・松本 佳奈

【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局

〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口研究室内

http://hac.or.jp Email: hac-jimu@hac.or.jp TEL: 082-820-2710 / FAX: 082-820-2723

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています